

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2021年2月号(第74号)



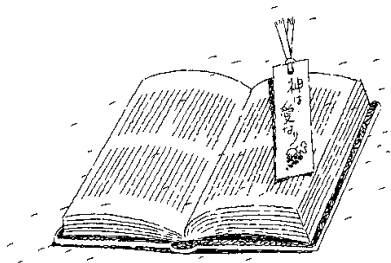
牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市臼井田 774-83

mail:isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



今月の聖書のことば

私は切に 主を待ち望んだ。主は私に耳を傾け
助けを求める叫びを聞いてくださった。滅びの穴
から 泥沼から主は私を引き上げてくださった。

【詩篇 40 篇 1～2 節】

年明け早々に二度目の緊急事態宣言が発
出され、新型コロナウイルスの収束が見え
ない中であって、スッキリしない気持ちで
日々を過ごしている方も多いのではないで
しょうか。この何とも言えない思いをどこ
に持っていったら良いのでしょうか。しば
し聖書のことばに耳を傾けてみましょう。

詩篇の作者であるダビデは次のように歌
います。「私は切に 主を待ち望んだ。主は
私に耳を傾け 助けを求める叫びを聞いて
くださった。」この時、作者であるダビデは
困難な状況にあったことが想像できます。
彼の周りには命を狙う者たちがいました。
また、彼をあざ笑う者たちもいました。そ
のような状況の中で、ダビデは主（神のこ
と）を待ち望みました。「待ち望む」という
のは、神様が動いてくださるのを待ちつつ

期待して祈っていたということでしょう。

そのようなダビデに対して、主はダビデの
祈りに、ダビデの助けを求める叫びに耳を
傾け聞いてくださいました。ここに「主は
私に耳を傾け」とありますが、これは「主が
私に身を伸ばして」というニュアンスにな
ります。ある聖書では「主は私に向かって
身を乗り出し 私の叫びを聞いてくださ
った」と訳されています。主が身を伸ばして、
身を乗り出して、叫びに耳を傾けてくださ
る。私たちの神様は、そのような御方なの
です。ダビデは「助けを求める叫び」を上げ
るほど苦しい状況にありました。それは前
述の通り、命を狙われ、あざ笑われ、敵たち
に囲まれていたのですから当然と言えます。
その状況下でダビデは「人」に向かって叫
ぶのではなく、「主」に向かって叫びました。

これこそが重要なことです。私たちは得て
して「人」を頼り、「人」に助けを求めます
が、まず私たちがすべきは「主」に向かっ
て行くことであり、私たちが叫ぶ相手は神で
ある必要があります。その順番を間違えて
はいけません。なぜなら人間には限界があ
り、出来ないことも多々あるからです。も
ちろん善意に満ちて助けようとしてくれま
すが、現実には残念ながら助けにならない
ことだってあります。途中で投げ出し、「あ
とは自分の力を信じて頑張れ」と無責任な
言葉で突き放すことだってあります。しか
し、主はそうではありません。私たちの叫
びに身を乗り出して耳を傾けてくださり、
しかも、ただ聞くだけでなく必要な助けを
与えてくださいます。それが、聖書の神で
す。この御方にこそ叫び、助けを求めて頂
きたいのです。

私たちは今、緊急事態の中であって苦し
い状況にあります。まさに叫びたくするよ
うな状況にあると言えます。そのような中
にあって、助けを求める相手、叫ぶ相手を

間違えてはいけません。まずは神様に向か
って行く。ただし、聖書が教える神様はア
ラジンの魔法のランプのようではありません
から、こすってすぐに出てきて何でも一
気に解決なさるわけではありません。私た
ちには「待ち望む」ことが求められます。コ
ロナのことで言えば、私たちがこの疫病を
通して何かを学ぶように導いておられるの
でしょうから、この事を通して私たちに何
が問いかけているのか考えることは大
切です。ただ肝心なことは、いかなる状況
にあってもまず神様に向かって行くこと
です。なぜなら、この御方は私たちが泥沼か
ら引き上げてくださる御方だからです。ぜ
ひこの御方に叫んで頂きたいと思います。

◆牧師のコラム

神に助けを求めるというテーマで書きました。クリスチャンになったら常に順風というわけではなく、必ず試練があります。試練は、神が私たちの成長のために用意しておられるのです。その中で聖書は、神は試練からの脱出の道も備えてくださっていると言います。だからこそ、私たちは神に頼ることが求められています。神は全てをご存知で、八方塞がりのようであっても、神に不可能はありませんから、私たちは信頼して祈っていくことが大切です。コロナ禍にあって、私も神様に叫び続けます。

～集会案内～

○日曜日：第一礼拝 9:00～ 第二礼拝 11:00～ ○水曜日：聖書研究祈祷会 10:30～12:00
教会学校 10:10～10:40 (現在は子どものみ) 19:30～21:00

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、統一教会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。